

学校関係者評価報告書

東海医療科学専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人セムイ学園 東海医療科学専門学校 学校関係者評価委員会は「令和3年度 学校自己評価表」の結果に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、下記のとおり報告します。

「学校関係者評価」の実施方法について

学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って実施し、学校関係者評価委員に評価していただきました。学校自己評価表（令和3年度版）と併せてご覧ください。

I 令和4年度 学校関係者評価委員会 開催概要

1. 日 時

令和4年9月3日

2. 会 場

リモート会議

3. 議 事

- (1) 委員長の選任
- (2) 令和3年度 学校関係者評価の対応状況
- (3) 令和3年度 自己評価結果について
- (4) 関係者評価委員による評価の実施と公表について

II 学校関係者評価委員、学校担当者

(1) 委員 学校関係者評価委員

学科	構成	氏名	所属 職名等
臨床工学	卒業生父兄	齋藤 友久	医療法人仁聖会 碧南クリニック
臨床工学	卒業生父兄	林屋 裕二	医療法人五一六五 ナゴヤガーデンクリニック
臨床工学	企業等委員 卒業生	山田 賢太郎	医療法人愛誠会 ゆりクリニック名古屋東
理学療法	企業等委員	熊澤 輝人	愛知県理学療法士会
言語聴覚	企業等委員 卒業生	富田 彰	医療法人羊蹄会 ようてい健康増進クリニック
作業療法	企業等委員 卒業生	内山 貴博	医療法人 並木会 並木病院
柔道整復	企業等委員 卒業生	加納 崇希	わかたデイサービス
社会福祉	企業等委員 卒業生	男武 正基	社会福祉法人 名張育成会

(2) 出席教職員一覧

氏名	所属・職名
籾本 恭明	東海医療科学専門学校 校長
大竹 有二	東海医療科学専門学校 校長代理、教学部長
田中 敏彦	東海医療科学専門学校 教学部長補佐、作業療法科 学科長
中村 新一	東海医療科学専門学校 教学部長補佐、臨床工学科 学科長
奥地 伸城	理学療法科 学科長
近藤 英隆	柔道整復科 学科長
小林 二成	言語聴覚科 学科長
高山 久志	社会福祉科 学科長
太田 晃二	学校法人セムイ学園 法人本部 総務部長

Ⅲ 学校関係者評価委員による意見、提言等

基準1 教育理念・目的・育成人材像

教育理念・目的・育成人材像などを明確に定めて、それを新入生のオリエンテーションで周知したり、「セムイ学園の精神」「社会に役立つ知識・技術・徳生」「なぜ学習しなければならないか」などを全学科の学生を対象に周知し、学生自身に考えさせているようですが、個々の学生が考えた内容に沿って修正などの指導も必要かと思えます。

基準2 学校運営

就業規則、賃金規定はいつでも閲覧可能とのことですが遵守されているかが肝心です。職員代表と経営側との意見交換がなされると良いかと思えます。

新入学する学生数の確保に苦慮されていると思えますが在校生の考えも取り入れるメリットもあると感じます。独特の教鞭をとる先生の紹介など。若い方の考えは大切だと思います。各学科の責任教員先生、経営側の先生とのコミュニケーションがとられていると感じますのでより一層の発展を期待できると考えます。

基準3 教育活動

- ・ 専門学校として資質が求められている昨今の教職の在り方について、自浄作用だけでなく外部の研修等も取り入れての教員としてのスキル向上は十分に行われているように思われます。今後も現状に満足することなく研鑽をお願い致します。
- ・ 試験結果をデータベース化して生徒の能力を数値化したことはとても評価できます。生徒にとって具体的な対策が取りやすくなっていくと思うので各課で進めていただくと生徒の成績向上につながりやすいのではないのでしょうか。教員の業務は増えるかと思えますが今後も進めていただきたい。

基準4 学修成果

「退学者」に関して、面談の場を設けたり様々な取り組みをされていますが、コロナ禍においてオンライン授業が多くなり、生徒同士・生徒と教員といった人間関係が希薄になり、気軽に悩みを打ち明けたり、相談できる環境が整いにくいと言った状況があるのではないのでしょうか。生徒同士・生徒と教員の交流の場を、制限はあると思えますができるだけたくさん設けてみてはいかがでしょうか（オンラインでも）。

現在リモートでの授業が続いており、実際に生徒と先生が関わる機会が以前と比べ減っていると思うので、引き続き生徒のメンタルケアを行っていただきたいと思えます。

各学科の国家試験対策について進め方やよかった点、悪かった点などを共有し、それぞれにあった国家試験対策を行い、全体的な合格率の向上に繋げていただきたいです。

基準5 学生支援

学生保護者様との連携については、学生支援システムやオンラインを活用して、各学科ともに適切に行われている。学生等の著しい成績不振や無断欠席が続く場合には、大卒課程であ

っても、保護者を交えた対応が必要であると思われる。

次に卒業支援について、理想としてはホームカミングや勉強会を行うことで、学校と臨床現場との連携をより深めることに期待したいが、昨今の状況では難しい。しかし、国試再試験や学生時代に同級との交流が少なかった学生様については、学生支援課のご協力をいただき、卒業一年程度はフォローして頂くことが望ましい。

基準6 教育環境

設備・機器は十分に整備されていると思います。

最近自然災害多く、公共交通機関が止まることもあるため、緊急時の備蓄の補充、確認を行っていただきたいです。

基準7 学生募集

昨年に続き、コロナ禍の中、学校訪問などによる情報提供ができなかったでしょうが、新入学生の減少はなく努力されていると思います。しかし、AO入試の学生が各科の半数位を占めているため、学力不足の学生の入学もあるでしょう。難しいとは思いますが、学力不足の学生に対する対策をもう一度しっかり立て、退学者を減らすようにしてください。

国家試験の合格率や就職の内定率も高い水準を維持しているので入学希望者も多いと思います。

基準8 財務

ここ数年は増益しており順調だと思います。

今後、予期せぬ事態に備えての大方の予算（積立）も考えてあり、計画性をもった運営がなされている。外部の監査を実施しており指導、助言を受けているので問題ないと考えます。

基準9 法令等の遵守

問題が起こらないようにする為の取組は非常に丁寧にされていると思います。USB等のデータ機器やネットセキュリティ、SNSなどにおける問題があった際にどのような対応をし、その後の対策をどのように行ったかなど記録をとり、積み重ねていく事が重要だと思います。

とくに SNS は自由度が大きい分、問題も多様化してしまいやすいので様々なパターンの事案を想定しながら問題対応及び対策を講じ、記録して行ってほしいと思います。

基準10 社会貢献

このコロナ渦で行えることは限られているが、その中でも可能な限り行っているように思います。

今後、コロナが落ち着いてきた際には今まで行ってきたようなボランティア活動等を行えるような対応、またはさらに進んだ活動が行えるような支援を期待しています。

以上、評価委員より示された提言等については、所管部署においてこれを踏まえ改善策を検討するものとする。